

信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-08）

- 女性渉外担当の配置状況等「事前課題の集計結果」 -

ポイント

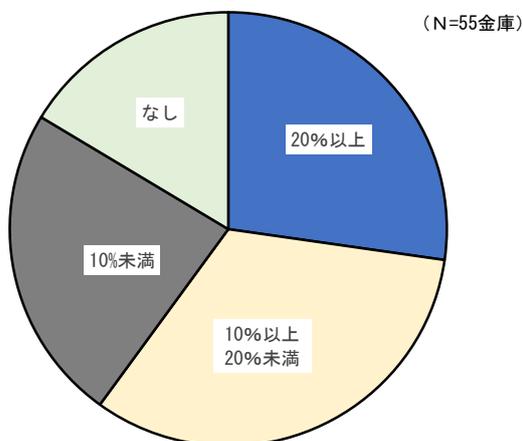
- 本稿は当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の事前課題の集計結果となる（回答数は55金庫）。
- 女性の渉外担当を配置する研修受講金庫は83.6%に達し、全渉外担当に占める女性渉外担当の割合も15.6%となった。
- 業務内容は、預かり資産や消費者ローン推進などの個人向け活動に特化する信用金庫、性別に関係なく地区担当や法人担当とする信用金庫に分かれる。
- 研修受講金庫からは、『女性職員のもう一段の活躍拡大には、ジョブローテーションの徹底に加え、キャリアプランの確立が不可欠』との声があった。

（注）本稿は、当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の事前課題の集計結果をまとめたものである。

1. 女性渉外担当の配置状況

信用金庫業界において女性職員の活躍拡大が解決すべきテーマの一つに浮上して久しい。そこで当研修の事前課題では「女性渉外担当の配置人数」を確認した。集計結果をみると、女性渉外担当を配置する研修受講金庫が83.6%（46金庫）に達し、全渉外担当に占める女性渉外担当の割合も15.6%となった（図表1、2）。信用金庫別では、①20%以上が27.2%（15金庫）、②10%以上20%未満が32.7%（18金庫）、③10%未満が23.6%（13金庫）、④配置なしは16.3%（9金庫）となり、相対的に預金規模の小さい信用金庫で女性渉外担当の配置割合が高かった。

（図表1） 渉外担当に占める女性渉外担当の割合（2023年度末）



（図表2） 事前課題の概要等

質問事項	【女性職員の活躍】 ①渉外担当（人数） ②部・店長（人数）
対象金庫	経営戦略プランニング研修（2024年度）受講金庫
回答期間	2024年6月3日～7月31日
回答金庫数	55金庫
その他	信用金庫によって渉外担当の定義が異なる可能性あり。
参考	詳しくは、金融調査情報（2024-10）「信用金庫の新しいビジネスモデル策定①-「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の概要-」を参照

（備考）図表1から3まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 担当業務など

女性渉外担当の業務内容は、大きく①預かり資産や消費者ローン推進などの個人担当とする信用金庫、②性別に関係なく地区担当や法人担当とする信用金庫に分かれる。特に近年は女性職員の活躍拡大の流れに加え、男性職員の減少が深刻なこともあり、②を採用する信用金庫が増えている。またジョブローテーションにより、入庫から3年以内に全職員が渉外営業を経験する仕組みの徹底なども一般化しつつある。

3. 部・店長への登用状況

事前課題では女性の部・店長（幹部職員）への登用状況も確認した。集計結果をみると、研修受講金庫の61.1%（34金庫）で、女性の支店長や本部部長の登用が確認された。ただし人数ベースでは1～2人など僅かに留まる回答が大半を占めており、多くの信用金庫が女性職員の管理職登用に苦慮していると想像される。そのためにも働き方改革の更なる推進や役員を含めた意識改革の徹底、女性職員のキャリアプラン提示などが求められる。

4. 研修受講金庫のコメント

研修受講金庫による事前課題の主なコメントは図表3のとおりである¹。

（図表3）研修受講金庫のコメント例

（女性渉外の業務内容）

- 女性の渉外担当は預かり資産や年金の推進に特化している。
- 当金庫は性別に関係なく女性も地区担当を行う。
- 当金庫の渉外担当は法人営業を基本とするため、女性職員も法人営業に携わっている。
- ジョブローテーションにより、総合職の職員は入庫2年目に個人担当、3年目には地区担当（法人担当）となるルールを徹底している。

（配置・育成上の課題など）

- 当金庫はテラーの不足も深刻化しており、女性職員の渉外配置は困難である。
- 渉外担当に拒否感を示す女性職員の離職増加が懸念されるため、配置に踏み切れない。
- 当金庫は女性渉外担当こそ定着したが、その後のキャリアに繋がっていない。一律のキャリアステップではなく、柔軟な評価基準で女性管理職、ひいては役員への道を示す必要がある。
- 当金庫は性別に囚われないキャリアパスを設けているので、女性職員の活躍拡大という観点で特別な取り組みを行っていない。ただし働きやすい職場環境の整備には熱心である。
- 当金庫は女性渉外担当の配置に消極的な考えである。無理に渉外担当に任命するのではなく、融資担当や他業務での成長に期待しており、そのための育成にも熱心である。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

¹ 信用金庫のコメント等は研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある（個別信用金庫名や詳細資料の提供依頼にはお応えしていません）。